

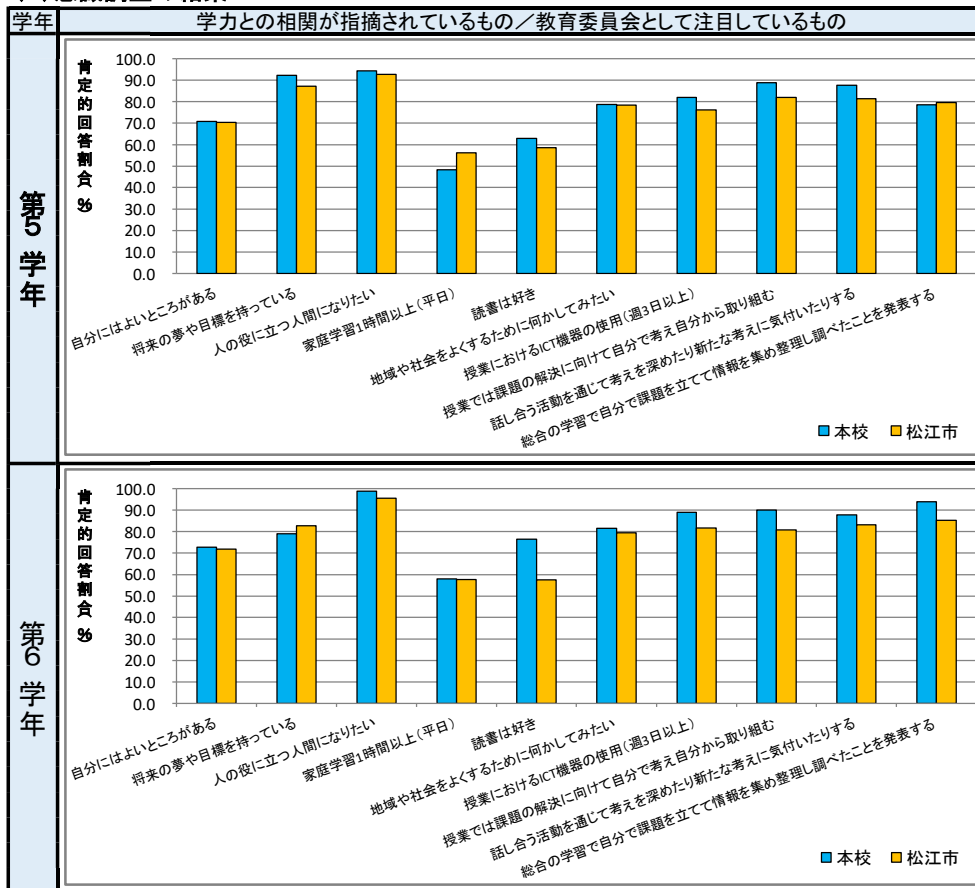
R7 松江市学力調査分析シート

【松江市立 義務教育学校玉湯学園(前期課程)】

(1)教科調査の結果

| 学年 | 教科 | 分析(成果○/課題●) | 改善策(・) |
|------|----|---|---|
| 第5学年 | 国語 | <p>○すべての領域・内容において、松江市の平均値を上回っている。 ○特に、話すこと聞くこと、言語文化に関することが、大きく上回っている。対話を大切にした授業の工夫や、漢字大会など日々の取組の成果が表れている。</p> <p>●市平均と比べて一番平均が下回った問題は、登場人物の行動について描写をもとに考える選択式の問題で1.7ポイントであった。</p> | <p>・読書の習慣がより定着するよう、家庭との連携をはかる。 ・授業の中で、一人ひとりが考えをもったり、発信したりする場を設定し、深め合える対話を大切に</p> |
| | 算数 | <p>○すべての領域・内容において、松江市の平均値を上回っている。 ○特に、知識・技能は推定全国値よりも大幅に上回っている。</p> <p>●角の大きさを求める問題や、小数のかけ算・わり算の正答率が低かった。</p> | <p>・繰り返し計算問題の復習に取り組む。</p> |
| 第6学年 | 国語 | <p>○領域「読むこと」の「説明文の内容を読み取る」ことについて、松江市の平均値を上回っている。</p> <p>●領域「書くこと」において、松江市の平均値を下回っている。 ●特に、指定された長さで文章を書く力が、松江市の平均値より16.3ポイント下回っている。</p> | <p>・文章の要点を整理し、まとめる学習を意識して授業を組み立てる。 ・筆者の伝えたいこと、問いと答えをしっかりと押さえて授業を進める。</p> |
| | 算数 | <p>○ほとんどの内容の正答率が松江市の平均値を上回っている。 ○特にデータの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断することができる。</p> <p>●図形の領域の正答率が低かった。特に、縮尺を使って縮図に表すときの長さを求める問題の正答率が低い。</p> | <p>・図形の復習問題に取り組む。 ・縮尺の問題を解く際に、計算の仕方だけ押さえるのではなく、なぜその式になるのか説明したり、実際の長さに変換する方法を説明したりする活動をする。</p> |

(2)意識調査の結果



<傾向と今後の対策、分析>
成果○:強み/伸ばしたい点 について
課題●:弱み/改善を要する点 について

【第5学年】
 ○将来の夢や目標をもっている割合が高い。
 ○授業では課題解決に向けて自分で考え、自分で取り組もうとする割合が高い。
 ●家庭学習で毎日1時間以上取り組んでいる割合が低いので、家庭学習の進め方について説明したり、各教科からの課題について共通理解を図ったりする。

【第6学年】
 ○人の役に立つ人間になりたい割合、授業におけるICT機器の使用頻度、課題解決に向けて自分で考え、話し合う活動を通じて考えを深めたり新たな考えに気付いたりする割合が高い。
 ●将来の夢や目標をもっている割合が低いので、自己肯定感が高まるような活動を行ったり、将来について語り合う機会を持ったりするようにする。

【R7学力調査受検者数】

第5学年 名

第6学年 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示